

5	教頭、主任、先輩の助言指導は	1	たりない	////
		2	簡潔すぎ懇切さを欠く	///
		3	特に問題ない	////////////////////

[考察]

校務分掌の職務内容が「よくわからない」とする数が64%におよび予想以上に高い。このことは、項目4の校務分掌遂行上の問題点として「校務分掌の職務内容の不明確」をあげている数が半数となっていることとあわせ重大なことであり、是正しなければならない。

項目3では、担当していない校務分掌について、「大部分わからない」とする数がおよそ半数である。これは協力体制を望ましいものとする面からも「だいたいわかる」ものとしたい。

項目5の助言指導の適切さでは「問題点ない」とする数8で73%に及んでいるが、助言指導が「たりない」とする数2は経験の浅い職員とみられ、今後配慮していかなければならない。

調査2

各委員会の職務遂行の状況から、組織構成員としての意識、共通理解や協力についての実態をとらえ、運営改善の対策の資料にするため実施した。

No	項目	選択内容	結果(人)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
①	各委員会の活動は	1	しごとを分担してすすめている	////										
		2	主任まかせが多い	////////////////////										
		3	主任独りの活動である	////										
②	各委員会の活動についての共通理解は	1	共通理解の機会が少ない	////////////////////										
		2	共通理解をはかる方法が組織的にととのっていない	////////////////////										
		3	問題ない	///										
③	担当外の委員会に対する協力体制は	1	協力のきもちはあるが協力体制十分とはいえない	////////////////////										
		2	協力の意志低調	///										
		3	問題ない	////										

④	委員会活動をすすめる上での問題点は	1	すすめかた、処理の方法を明確にする	////
		2	委員会活動を計画的に実践する	////////////////////
		3	問題ない	////
⑤	各委員会の一員として	1	委員会で解決すべきことなどを常に考えている	////
		2	所属する委員会に上司の指示があれば処理している	////////////////////
		3	組織表をみないと所属する委員会がわからない	///

[考察]

組織体としての委員会活動に対する意識をみる項目①では「主任まかせが多い」とする数が82%にいたっている。これは、特性を生かすことや経営に主体的に参加する志気にもかわりをもつことで、力を入れて改善しなければならない。

項目②の共通理解では「機会がすくない」と「方法がととのっていない」の数が各5で、これは本質的には両者同じことでもあるので、ほぼ全職員が委員会活動についての共通理解が不十分と思っているといえる。委員会運営の改善を要する。

項目④・⑤は職務遂行上の問題点や組織構成員としての構えをみるものであるが、問題解決には委員会の組織的な運営について配慮していく必要がある。

(2) 改善策

① 調査1の結果に対する対策

- ア 調査1から把握された問題点を解決するため、校務分掌の職務表を作成することにした。
- イ 職務表を作成するにあたり、つぎの方針をたてた。
  - 本校の校務分掌の組織に即して作成する。
  - 全職員の共通理解、協力体制による作成。
  - 内容は、具体的に簡潔明解に表現する。

② 調査2の結果に対する対策

- ア 調査2からとらえた問題点の解決を図って運営の改善をしていくため、各委員会を計画的に実施し、職務遂行上必要な共通理解や、もっている特性、能力を発揮できるようにすることにした。
- イ 委員会の開催、具体的な実践、評価など、委員会活動全般について改善をすすめるにあたっての方針
  - 作成した校務分掌の職務表に即した活動の